

## 各種お知らせ

### メールの確認について

新型コロナウイルスの影響で、後期日程や授業スケジュール等が変更になることが考えられます。大学から送られてくるメールの確認を必ず毎日行ってください。

### 後期の日程について ※大学祭はオンライン開催(10/23午前)、行事予定変更あり

10月 1日(金) 後期授業開始	1月11日(火) 授業再開
10月 1日(金) ~7日(木) 後期履修登録変更期間	1月14日(金)・15日(土) TOEIC IP
10月12日(火) 宮崎学園創立記念日、創立記念行事	1月29日(土) 補講日(予備日)
12月24日(金) ~1月10日(月) 冬季休業期間	2月 2日(水) 後期授業終了
1月 7日(金) 休講、TOEIC IP	2月 3日(木) ~9日(水) 期末試験期間
	3月10日(木) 卒業式

## 学生部

### 令和3年度「学友会」と「アドバイザー・アシスタント(AA)」が決まりました

#### 【学友会役員委員】26名

・Vu Van Khoa(会長)	・Muir Evan Carter	・杉原 春渚
・前田 海希(副会長)	・原 大晟	・田村 彩華
・黒木 高雅(副会長)	・日高 ひかり	・戸高 愛莉
・前田 桃葉(会計)	・木下 美空	・矢田 日和
・田原 太陽(書記)	・花堂 珠未	・山内 陽茉理
・Johnny Jervis	・稗嶋 広大	・矢野 兼仁
・Nengha Tanyiko	・河野 珠己	・横山 勇志 (敬称略)
・甲斐 裕希	・木本 茉奈美	
・川越 彩夏	・三浦 智祥	
・黒木 奏音	・小野 恵慎	

#### 【アドバイザー・アシスタント学生】19名

・太田黒 桃花	・森山 由紀乃	・甲斐 裕希
・福永 彩	・村上 日向子	・黒木 明美
・畑野 龍斗	・落合 真高	・前田 桃葉
・井樋 有香	・山口 パトリシア アン	・中園 鈴
・黒木 高雅	・矢野 芹菜	・清水 舞 (敬称略)
・イジユヒ	・米田 涼華	
・盛永 結依	・八幡領 香穂	

## 部活動の状況報告(バレーボール部)

宮崎国際大学バレーボール部は、現在男女70名以上入部しており、毎週2回活動しています。未経験者、経験者関係なく毎日楽しくバレーをしています。昨年より人数が増え、練習では技術力向上を目指して、活発に活動しています。最近ではコロナ感染症の影響で、試合などに出る機会がありませんが、試合で活躍できる部員が増えるよう、さらにチーム全体で盛り上げていきます。



部長 八幡領 香穂

## 宮崎国際大学奨学制度(特待制度)について

本学奨学制度(特待制度)の内容が充実しました。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

## 学務部(重要)

### 【両学部】

- 教員免許取得予定の4年生へ  
本籍地が記載された住民票を夏休み中に取得してください。免許状申請時に本籍地を確認します。
- TOEIC IPの実施について  
9月中旬にTOEIC IPを実施します。詳細は、メールで連絡します。
- 履修科目の変更について  
履修登録変更期間は10月1日(金)~7日(木)です。希望する学生は変更用紙を学務部で受け取り、期間内に手続きをしてください。\*新型コロナウイルスの影響で変更になることがあります。

### 【国際教養学部】

- 4年生へ  
卒業要件：124単位以上、GPA1.50以上。  
卒業論文：最終稿提出期限は、令和4年1月10日です。  
チェックポイント毎に提出期限が定められています。卒業可能な最低点は60点です。詳細は<https://sekai.miyazaki-mic.ac.jp/thesis/>にて確認してください。(大学内のみアクセス可)  
☆勝手に進めず担当教員と十分に相談すること。  
☆盗用の疑いのある論文、未完成の論文の提出は認められません。(発覚した場合、点数を取り消します)
- 3年次進級要件について  
英語に関する進級要件は、TOEIC500点以上です。
- 教育実習について  
教職課程を履修している学生の教育実習参加基準：TOEIC600点以上。

### 【教育学部】

- 4年生へ  
卒業要件：128単位以上。  
卒業論文：卒業論文登録要件に、各学期のGPA平均値が1.50以上とあります。毎学期、確認してください。

## 後期学費の納入について

後期学費の納入締切日は10月29日(金)です。学費振込依頼書は保護者様宛てに送付いたしますので、期日までに納入をお願いします。期限までの納入が困難な場合は、総務部へご相談のうえ、納入期限までに「学費延納願」をご提出ください。

## 駐車場使用申込について

インターネットからお申込みください。詳しくはメールを確認してください。

## 宮崎国際大学

### 在学生・保護者向けニュースレター



# MIC通信

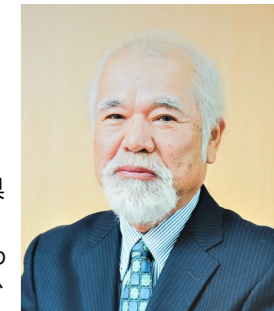
2021年度前期

Newsletter for MIC students and parents

September, 2021

## 学長あいさつ

宮崎国際大学の学生の皆様および保護者の皆様こんにちは。今年の4月に着任いたしました学長の村上です。これまでのわずが5か月の間に、本学で様々なことに驚かされました。国際教養学部の学生さんたちは、授業が英語で行われることで、大変苦労しているかと思いきや、結構楽しんでいることが分かりました。入学したての1年生や、まだ2年生の中には、苦労して、ついて行くのがやっとという方もいらっしゃると思いますが、きっとその悩みも喜びや楽しみに変わっていくと確信しています。また、教育学部の学生さんたちは学校の先生になるために、1年生の時から、かなりハードなカリキュラムでの講義・実習が始まっています。現4年生は、各県で行われている教員採用試験において、極めて高い合格率を得る勢いです。これは驚嘆に値します。これも、本学が素晴らしい教育環境、特に教員1名当たりの学生数が約10名程度という、少人数教育の効果とと思っています。多くの私立大学では教員1人当たりの学生数は30~50人と言われているので、いかに本学が少ないかが分かります。



学長 村上 昇  
President, Noboru Murakami

ところで、新型コロナウイルス感染は未だに収まる気配はなく、益々増加しています。感染力の強いデルタ株は若い人々を容赦なく感染させ、重症化を起こします。本学では学生や教職員の中で、希望者には、すでにワクチン接種が行われました。しかし、大学としましては、万全を期して感染防止対策を講じなければなりません。気のゆるみが一番怖いところです。オンライン教育と対面教育との比較をおきまして、教育効果、学生の精神的な病い(孤立、孤独感から)や健康問題へのリスク、感染のリスク、他様々な比較因子を検討して、大学はその時、その時に応じてベストな方法を選ぶ努力をしています。すべての方が、選択された方に同意することは無いことも承知しています。しかし、このような状況下では、皆さんが協力しなければ、乗り越えることはできません。学生の皆さんや保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

本学は今後、大学院の設置(修士課程)や国際教養学部のカリキュラム改正による出口の明確化など、様々な改革を推進していきます。おそらく現在の2年生が卒業する頃には、大学院進学も卒業後の進路選択の一つに入れられると予想しています。ホームページに掲載されていますように、県内の主な産業界、経済界、航空業界、工業界、ホテル観光業界などのトップから、本学の学生に激励メッセージを頂いています。皆さんは、これらのメッセージに応えられるように、一生懸命頑張ってくださいと思います。

## 後援会会長あいさつ

私が宮崎女子短期大学(現宮崎学園短期大学)英語科を卒業する平成6年に開学したMIC宮崎国際大学。あれから27年。たくさんの教職員・卒業生が、変化変容する時代と共に現在のMICに育て上げてくださいました。現代社会で求められているもの、外国語特に英語で理解できる・英語でのコミュニケーション力・日本人としての立ち位置からの世界との向き合い方など、「地球人」として学ぶべきことが本学にはあります。



後援会会長 廣池直美  
Chair of the Parents  
Association, Naomi Hiroike

ここ数年、様々な行動制限がなされ、世界中に羽ばたく予定だった国際教養学部2・3年生たちは非常に歯がゆい思いをされていることでしょう。事態が落ち着いたら何らかの手段で海外留学できることを切に願っております。また、教育学部においては、今年も教員採用試験にたくさんの挑戦があり手ごたえも充分であると伺っております。今「先生」として求められているものをMICの教えから学び、「生徒保護者から信頼される先生」を目指して勉学に励んでいただきたいと思います。

また、7月に行われたオープンキャンパスも過去最高の参加者となったようで受験生からの注目度も高く、今後益々の発展が期待される本学であります。

最後に、村上昇学長からのお言葉に「学生諸君の頭(脳)は現在、思春期爆発の状態にある」とありました。様々な知識をインプットし、アウトプットするという繰り返しが爆発状態の頭が正常に動いているイメージが沸きました。学生の皆さん、先生・保護者の応援をいただきながら、色々なことに挑戦してください。人生で最も柔軟な時期、明るい未来が待っています。

## 本紙コンテンツ

- ◆ 学長あいさつ
- ◆ 後援会会長あいさつ
- ◆ 国際教養学部
- ◆ 教育学部
- ◆ 地域連携センター
- ◆ キャリア教育センター
- ◆ 学生教職支援センター
- ◆ 入試広報部
- ◆ 宮崎学園図書館
- ◆ 各種お知らせ  
メールの確認について  
後期の日程について  
学生部  
学務部  
後期学費の納入について  
駐車場使用申込について

## お問い合わせ

発行：宮崎国際大学 学生部  
〒889-1605  
宮崎市清武町加納丙1405番地  
TEL 0985-85-5931

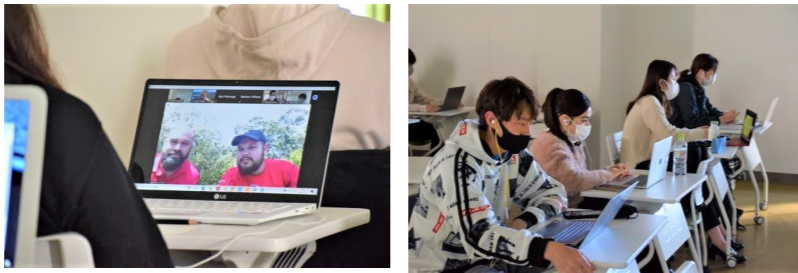


## 国際教養学部

2020年初めはコロナウィルスの増加が見られ、様々な調整と犠牲を強いられました。必要に迫られ、国際教養学部ではオンライン授業を行いました。かなりの苦労がありました。今、一年が経過し、他の多くの教育機関がオンライン授業を選択する中、私たちは対面授業を実施し、可能な限り学生が最高の教育を受けられるよう努力を続けています。学生たちが海外に行くことができない状況の中、海外研修プログラムで最高の体験を提供するための対策も講じています。海外の提携大学機関の多くは、本学の学生を対象に各国の文化や人々について学ぶことができるプログラムを用意してくれました。オンラインプログラムなので同じ体験は出来ませんが、同等の教育効果が得られるように考えています。昨年のプログラム終了後の学生・教員からのフィードバックを分析し、今年はより良いプログラムになる予定です。

宮崎国際大学ならびに国際教養学部では、このような困難な時も、あらゆる手段をとり学生の支援と育成に取り組むことを改めて表明します。

"The show must go on"



2020年度オンライン海外研修の一例 ウォロンゴング大学の「地域研究」授業

## 教育学部

教育学部は、教員や保育者を養成するために設置された学部で、入学後4年間で所定の科目を履修することにより「小学校・幼稚園教諭1種免許状及び保育士資格」を取得します。平成29年度に第1期生が卒業し、現在、第4期生が社会に出て活躍しています。

さて、教員採用試験等の実績はすでに紹介していますので、今回は公務員希望者の状況について紹介します。教育学部では、一部の学生が入学後、教員又は保育士志望から公務員志望に変更します。県内・市内出身の学生が多いため、ほとんどは宮崎市を受験します。大卒程度の幼保職（幼稚園免許と保育士資格が必要）あるいは一般行政職を受験するように指導しますが、試験はともに、基礎数学からなるSPI試験と幼保や一般行政職として必要な専門試験があります。令和2年度における競争倍率は幼保職が4.3倍、一般行政職で約7倍と公表されているように、狭き門です。

公務員試験（宮崎市）に合格・採用された人数

卒業年度	幼保職（人）	一般行政職（人）	教員現役合格者数（人） （合格率%）
平成29年度	1	0	8（38.1）
平成30年度	1	2	13（56.5）
令和元年度	1	1	11（68.8）
令和2年度	3（都城市幼保職1人を含む）	1	11（64.7）

教育学部学生は、過去4年間宮崎市公務員を目指して果敢に挑戦してきました。その結果、数字は小さいですが、例えば宮崎市の幼保職は毎年3人程度の募集に対して、本学部から毎年1人以上を合格させています。一般行政職を受験した学生は確実に合格しています。なお、参考のために、小学校教員採用試験現役合格者数・合格率は、表の右にあるように70%近くになっています。このように、学生は入学後、免許・資格に必要なカリキュラムを履修しつつ、教科・教職ゼミ、学生教職支援センターの教員採用試験対策講座やキャリア教育センターの公務員対策講座等をしっかりと受講・勉強し、教員、公務員に確実に就職しています。大学ランキング2011（朝日新聞出版）では、全国の国公立私立大学の集計ですが、その中で教育学部は「就職率1位、小学校教員就職率18位、教員就職率66.7%」となっています。これは、教育学部の教育・体制・学生支援が如何に素晴らしいかを物語っている証拠です。今後とも教職員が一丸となって支援していきたいと思えます。

## 地域連携センター

地域連携センターの目的は、本学の教育資源と地域の教育機関、自治体、企業、その他の組織等及び住民との連携を通して地域社会との関係づくりを推進することです。昨年度はコロナ禍のため多くの取組が中止となりましたが、令和3年度はコロナ感染防止対策を講じることで、新規事業を含めて計画どおりに実施しています。

本年度はこれまでクラーク記念国際高校、宮崎南高校、宮崎学園高校、延岡星雲高校、小林高校及び日向高校との連携事業として、特別英語研修講座「ENGLISH DAY」や「GLOBAL SESSIONS II」等を実施することができました。1～3日間のこれらの講座は、各校の要望に合わせて計画された内容で実施されるため、教育成果の高い、大変充実したものとなっています。後期においても、都城西高校、宮崎学園高校、延岡星雲高校等からも英語研修の依頼がありますので、万全を期して対応させていただきます。

企業や自治体においても地域のニーズに応えています。企業については昨年度に引き続き、宮崎銀行との連携事業として行員のための実用英語研修講座「窓口で使える英会話」を実施しました。宮崎銀行とは、今後正式に連携協定を締結する方向で協議中です。自治体では、日南市教育委員会の依頼に応え、小中学校の生徒を対象に英語学習の「楽しさ」を体験できる「定平塾ENJOY ENGLISH」講座を実施しました。また西都市教育委員会との連携では、小中学校教員の英語教育力アップを目指す協議会への参加とともに、本学学生が「西都市英語力向上推進サポーター」に委嘱されるなど、西都市小中学校の英語教育向上に寄与するべく取組を続けています。



宮崎学園高校 体験入学



延岡星雲高校 GLOBAL SESSION

## キャリア教育センター

本学ではキャリア教育に力を入れており、入学当初からTS（Three Stages＝〔3段階〕）による就職支援を行っています。キャリア教育センター及び学生教職支援センターを拠点に、学生の「自分探し」から「免許・資格取得」「就職」まで一人ひとりの人生設計をサポートするプログラムを用意して、企業・公務員・教職等への進出を丁寧にサポートしています。前期ではキャリア教育支援科目を開講しましたが、後期からは学生が目指すキャリアに近づくために、スキルアップ講座を実施します。これは学生が就職活動に備えて、自ら目標を設定し、チャレンジ出来るように支援するものであり、学内で実施する連続講座です。

- ・SPI試験対策講座（1・2・3年生対象）
- ・公務員試験対策講座（1・2・3年生対象）
- ・エアライン入門講座（1・2年生対象）
- ・エアライン就活対策講座（3・4年生対象）

また、適時適切に就職情報等を提供するためにキャリアサポートプログラムも後期に実施します。

- ・面接対策講座 ・業界、企業研究講座 ・就職活動直前講座 ・学内企業説明会
- ・インターンシップ ・インターンシップ報告 ・就職メイク講座 ・スーツ着こなし講座 等



## 学生教職支援センター

学生教職支援センターは、「教育学部全学生」「国際教養学部教職課程履修生」を対象に教員採用試験合格支援プログラムを実施しています。令和3年度公立学校教員採用選考試験では、宮崎県をはじめ、大分県や熊本県、沖縄県、大阪市の小学校を教育学部4年生23名が受験しています。中学校英語では宮崎県や福岡市を国際教養学部4年生8名が受験しています。4年生が毎晩遅くまで、また、土・日曜日も登学し受験勉強する姿を目の当たりにして、1年生から3年生の学生は大いに刺激を受けています。3年生の多くはマイ参考書を片手に採用試験に向けた勉強を始めています。

学生教職支援センターでは、教員採用試験のための特別対策講座を各学年設けています。1年次2年次では「基礎Ⅰ」「基礎Ⅱ」を開講し、専門教科及び教職教養の実力養成を目指しています。3年次4年次では「応用Ⅰ」「応用Ⅱ」を開講し、実力養成に加えて宮崎県教育研修センターが主催するひなた教師塾の2期生として8回の講話・講義・演習に参加し、教育実践力を身に付ける計画です。教育学部幼保コースでは、保育者養成実践講座を計画し学年を超えた実践を進めています。3年次後期からは学外講師を招へいする「特別対策講座」も計画され、現在教員採用選考試験二次対策（面接・模擬授業）に取り組んでいます。また、特別対策合宿は本年度も新型コロナウイルス感染対策のため学内プログラムに変更し、9月12日（日）、13日（月）の両日、内容を工夫して行う予定です。

## 入試広報部

入試広報部では、ガイダンスや高校訪問、オープンキャンパス、WEBオープンキャンパス、各種メディア等を活用して、本学の魅力を伝えています。

先日開催した第1回オープンキャンパスでは多くの在学生が学生スタッフとして参加し、午後の「交流カフェ」では、高校生が希望する学部ごとに、MICの魅力を伝える企画を行いました。参加者からは「全ての対応がフレンドリーで素晴らしかった。先輩方とのふれあいや先生方との交流がとても楽しかった。ぜひ入学したいと思う。」などの声を聞くことができました。在学生の皆さんの生き生きとした姿、成長の様子が本学の一番の魅力です。これからも今以上に積極的に広報活動を行い、県外も含めてより多くの高校生が本学を目指してくれるよう努めてまいります。



第1回オープンキャンパスにて(7/18開催)

## 宮崎学園図書館

### ☐ 図書館利用指導を開催！

教育学部1年生が、本学でユニークな授業として定評のある「忍ヶ丘教養Ⅰ」授業の一環で、6月に図書館の基本的な利用方法について学びました。学習・レポート作成・卒業論文等作成に資料収集は必要不可欠ですが、その一助として、図書館ツアーでは、館員の説明を受けながら1階～3階まで館内を回りました。「データベース編」では、スマホ・タブレットのWi-Fi環境設定・Webサイト等について、「パソコン・スマホ等での検索編」では、電子書籍、国内論文・外国誌データベース等を、実際に画面を見ながら検索方法の説明を受けました。



### ☐ ホンデリング～本でひろがる支援の輪～参加！

6月末にみやざき被害者支援センターから「ホンデリング」に関する依頼を受け、図書館も協力させていただくことになりました。広く、学生・教職員の皆さんにも「本の寄贈」を呼び掛けています！

[依頼内容]

「あなたの本の寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。～不要になった本が、支援活動に活用されます！～」

※詳細は、図書館Webサイト、図書館・学内ポスターをご覧ください。

<流れ> 本を集めて支援センターに連絡⇒センターが回収に来館⇒古本業者が仕分け・査定⇒活動費用へ